

九州大学生協

1年総代対象「利用者懇談会」

第007号
(通算592号)



[組織運営]

取り組み概要

日時：2024年6月20日 16:40～18:30
場所：伊都キャンパスビッグさんど
地下1F ビッグダイニング
参加者数：1年総代17名、職員5名

概要：1年総代を対象に実施した懇談会。
総代と学生委員会、職員で構成される
グループで交流しつつ、お互いの立場
や想いを共有し合った。

総代と職員の対話から生まれる新発見！

POINT.1

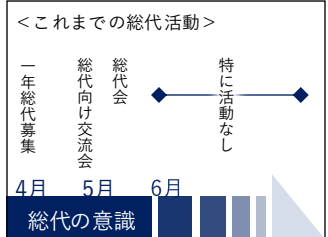
組合員の運営への参加促進の第一歩へ。

例年総代対象の企画が少なく、総代会終了後はLINEで連絡を流す等のアプローチしかできていないという現状を踏まえ実施されました。

1年総代が生協の運営について考える機会を増やすことで、生協をもっと身近に感じてもらうとともに、「単なる利用者ではない」という認識につながりました。

この懇談会を契機に、上級生総代や総代以外の組合員へと参加対象を上げ、組合員の運営への参加促進へと拡がることを期待します！

※2025年1月にも懇談会を開催し、12名の総代が参加したそうです！



POINT.2

職員とのつながりを大切に。「職員×総代」「職員×学生委員会」



懇談会を単なる意見共有の場ではなく、総代と職員が交流できる場にするため、COOPお菓子や新商品の試食品も用意し、総代がリラックスして会に臨めるように工夫をしていました。交流を通じて、参加した総代にはより生協を身近に感じてもらえるようになりました。

また、職員を対象に実施した事前アンケートをもとに、懇談会でのトークテーマを検討する等、学生委員会と職員が連携して企画を実施しました。

POINT.3

職員と総代、両者にとっての新発見を。



職員にとっては、学生の願いを聞いたり、現状を把握したりと、懇談会での学生の生の声から得られるものがありました。

一方、学生にとっても新たな発見があったようで、事後アンケートでは一部のサービスや支払い方法について「初めて知った」という意見が散見されました。

今回は職員も総代も限られた人数ではありましたが、この「新発見」の機会を増やしていくことで、生協店舗の職員と店舗を利用する学生がお互いへの理解を深めていくことができると思います！